

渡島・檜山地方の気象

平成 25 年冬（12 月～2 月）のまとめ（2013 年）

函館海洋気象台

平成 25 年 3 月 29 日

平成 25 年冬（12～2 月）の天候 - 「低温・並雨（多雪）・寡照」

【気 温】

3 か月の平均気温は $-5.2 \sim -1.1$ で、平年差は $-2.0 \sim -1.4$ となり、全ての観測点で平年より低く、長万部・八雲町八雲・木古内・松前・八雲町熊石・今金・厚沢部町鶉では平年よりかなり低かった。

【降 水 量】

3 か月の降水量合計は $72.0 \sim 448.0$ mm で、平年比は $71 \sim 120\%$ となり、北斗・木古内・七飯町大沼・せたな町瀬棚で平年より少なく、今金・江差では平年より多く、そのほかの観測点では平年並だった。

【日照時間】

3 か月の日照時間合計は $77.4 \sim 320.7$ 時間 で、平年比 $59 \sim 105\%$ となり、函館市川汲では平年より多く、長万部・八雲町八雲・函館市美原では平年並で、そのほかの観測点では平年より少なく、せたな町瀬棚では平年よりかなり少なかった。

月ごとの概況

【12 月】「低温・並雨（並雪）・寡照」

この期間の天気は、冬型の気圧配置で雪の降る日が多かった。6～7 日にかけては発達した低気圧の通過により暴風雪となり大荒れの天気となった。上旬と下旬は強い寒気の影響を受けて平年より気温の低い日が多く、下旬は平年よりかなり低かった。

月平均気温は平年より低く、月降水量は一部を除いて平年並～平年より多く、月間日照時間は平年並～平年より少なかった。

【1 月】「低温・少雨（少雪）・多照」

この期間の天気は、上旬と中旬は冬型の気圧配置で日本海側では雪が降ったが、太平洋側では晴れて、気温は平年より低い日が多かった。下旬は低気圧の通過や気圧の谷の影響で天気は周期的に変化し、気温は平年より高い日が多かった。

月平均気温は平年より低く、月降水量は一部を除いて平年より少なく、月間日照時間は一部を除いて平年より多かった。

【2 月】「低温・多雨（多雪）・寡照」

この期間の天気は、冬型の気圧配置や低気圧を含む気圧の谷の影響で雪の降る日が多かった。また、強い寒気の流入により冬型の気圧配置が強まり、月平均気温が平年より低くなった。

月平均気温は平年より低く、月降水量は一部を除いて平年並～平年より多く、月間日照時間は平年より少なかった。

気象官署（函館） 特別地域気象観測所（江差）における
平成 25 年冬（12～2 月）の各種資料

気候表

官署名	気温		降水量		日照時間	
	平均気温 ()	平年差 ()	月合計 (mm)	平年比 (%)	月合計 (時間)	平年比 (%)
函 館	-3.1	-1.6 (低い)	216.0	98 (平年並)	308.3	97 (平年並)
江 差	-1.4	-1.5 (低い)	281.5)	116 (多い)	102.8	81 (少ない)

平年比（差）の括弧付の値は階級を示す。

数値に付く) は、統計した期間に欠測が含まれていることを示す。

極値・順位更新表（統計開始以来 3 位までの記録）

官署名	要素名	順位	観測した値		従来の順位の値 現在の極値		統計 開始年
			起年月日	起年月日	起年月日	起年月日	
江 差	2 月における 日照時間の少ない方から	2	28.3h	2 月	32.7h 27.7h	1965 年 2 月 2005 年 2 月	1941 年
	2 月における 降雪の深さ月合計	2	102cm	2 月	101cm 153cm	1955 年 2 月 1957 年 2 月	1953 年

降雪量・最深積雪

官署名	12 月		1 月		2 月		冬合計		冬最深積雪	
	降雪量 (cm)	平年比 (%)	降雪量 (cm)	平年比 (%)	降雪量 (cm)	平年比 (%)	降雪量 (cm)	平年比 (%)	(cm)	平年比 (%)
函 館	97	113	86	73	89	99	272	93	55	128
江 差	76	107	66	58	102	116	244	89	38	123

真冬日の日数

官署名	12 月		1 月		2 月		冬合計	
	日数	平年差	日数	平年差	日数	平年差	日数	平年差
函 館	12	+6	16	+4	14	+5	42	+15
江 差	9	+5	13	+3	12	+4	34	+12

平年差は、本年の日数から平年値の小数第 1 位を四捨五入した整数値を引いた値。

四捨五入の関係で各月の平年差の合計と冬合計の平年差は、一致しないことがある。

異常気象および気象災害発生状況

<p>12月6-7日 【渡島地方】 強風害、雪圧害、 海上波浪害</p>	<p>日本海西部の前線を伴った低気圧が、6日には急速に発達しながら北海道の西海上を北上し、7日朝にはサハリン付近に進んだ。このため6日～7日にかけて雪を伴った非常に強い風が吹き、大しけとなった。</p> <p>強風による転倒、屋根からの転落による軽傷（2名：函館市）。管内で、住家一部損壊（30棟）農業被害（69か所）停電（2642戸）。交通機関（JR：38便運休・4便遅延、航空：18便欠航、遅延6便、フェリー：46便欠航、路面電車：17本運休）学校関係（休校：4校、登下校変更21校）などをもたらした。</p>
<p>12月6-7日 【檜山地方】 強風害、雪圧害、 海上波浪害、沿岸 波浪害</p>	<p>日本海西部の前線を伴った低気圧が、6日には急速に発達しながら北海道の西海上を北上し、7日朝にはサハリン付近に進んだ。このため6日～7日にかけて雪を伴った非常に強い風が吹き、7日夕方にかけて猛烈なしけとなった。</p> <p>屋根からの転落による軽傷（1名：奥尻町）。その他、住家一部損壊（1棟）非住家損壊（4棟）農業被害（2か所）越波による通行止め（2件）停電（2030戸）。交通機関（JR：5便運休、航空：4便欠航、フェリー：4便欠航）の運行に影響があった。</p>
<p>1月4日 【渡島地方】 海上波浪害</p>	<p>冬型の気圧配置となっており、日本海では波が高くなっていた。</p> <p>4日出漁中の磯船が横波を受け転覆、その後乗組員3名は磯場に流され救助されたが全員死亡（全員、ライフジャケット着用）。</p>

氣象經過圖

地上氣象：2012年12月1日-2013年2月28日

函館

江差

